Class 03

お腹と心を満たす地域のわ

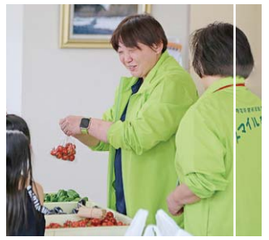
安心できる居場所づくりや孤食の防止、多世代の交流機会の創出など、多くの役割を持つ子ども食堂。市内で子ども食堂を主催する団体と、食材の提供など、その活動をさまざまな形で支える人たちの取り組みを追います。



とめ☆スマイルキッチン

NPO法人「スマイルむさし」が主催する子ども食堂。毎月第３土曜日に、登米市自立相談支援センター「そ・え～る登米」で弁当を無料で配布しています。（申し込み不要、先着順）







▲９月18日開催の「とめ☆スマイルキッチン」では、協力農家から提供されたミニトマトやジャガイモなどの野菜も配布され、訪れた親子から「うれしい」「ありがたいね」などの声が上がった。

食事の安心を確保し健やかな成長を支える



千葉 純子（じゅんこ） さん
とめ☆スマイルキッチン

「子どもたちが『今日の弁当、すげえおいしかった』と言ってくれるのが楽しみで毎回張り切って作っています」と、千葉さんはにっこり笑顔を浮かべます。

平成30年に始まった「とめ☆スマイルキッチン」。当初は食卓を囲み、参加者全員で食事をする形式でしたが、コロナ禍を経た現在は、手作り弁当の配布という形で活動しています。２人のスタッフが心を込めて作る弁当は毎回約50食。食べ応えのある弁当を求めて、毎回多くの親子が足を運びます。弁当と一緒にお菓子や新鮮な野菜を配布することもあり、物価高に悩む家庭の助けとなっています。

活動の支えとなっているのが、農家や学生、企業、団体などによる、食材提供や寄附などのサポートの存在。「地域のみなさんの温かな協力のおかげで活動が継続できています」と感謝の気持ちを口にします。

近頃は、遠方に住んでいたり、小さな子どもがいたりして来所が難しい人などのために、弁当を配達する体制も整備。「必要なサポートが必要な子どもたちに届くように、ぜひ多くの人に活動を知ってほしいです」。そう話す千葉さんの目は、温かな未来をまっすぐと見据えています。

【問い合わせ】
NPO法人スマイルむさし
☎0220（41）9035
✉sumairu9035@gaea.ocn.ne.jp

スマイルむさし
公式HP

Interview 関わる人の声

「ありがとう」を励みに、少しでも協力を続けて

「困っている人の助けになれば」と、規格外の野菜などを子ども食堂に提供しています。食べてくれた人からの「ありがとう」の声が一番の励みなので、これからもできる範囲で協力していくつもりです。



主藤 栄幸（えいこう） さん
＝米山町江浪＝

地域一丸でつくる安心の子どもの居場所



戸田 和夫（かずお） さん
ビックネットこども食堂

「大人が見守る安全安心な環境の中で、子どもたちには心を豊かに育んでいってほしいんです」と、戸田さんはしみじみと話します。

「ビックネット子ども食堂」は、迫町佐沼の大網地区を担当する民生委員・児童委員が中心となり、地域の子どもたちとの顔の見える関係作りを目的に平成30年からスタート。週３回の子どもの居場所事業と、月１回の子ども食堂を両輪に、地域の大人による安全で安心な居場所づくりに取り組んでいます。

食堂の運営に欠かせないのは、志を共にする地域住民やボランティアの存在。毎回10人程度のスタッフが集まって調理や会場設営をします。地域住民や団体などから食材や資金面での協力もあり、「得意なことを生かしながらそれぞれにできる範囲で取り組んでいただき、とても助かっています」と感謝をにじませます。

「今後は、企業の協力のもと、食育につながる体験学習も計画していきます。楽しく集まることで子ども同士の絆も深まりますし、スタッフ同士、力を合わせながら続けていきます」。地域の温かな目を届けようと、戸田さんは子どもたちに寄り添い続けます。



ビックネットこども食堂

任意団体「子どもの居場所ビックネット」が主催する子ども食堂。毎月最終土曜日または日曜日を基本に、大網西集会所で開催しています。（参加には要事前申し込み）







▲10月17日開催の「ビッグネットこども食堂」には、子どもや保護者、スタッフなど計30人が参加。輪投げゲームを楽しんだ後、参加者全員で「いただきます！」と元気にあいさつし、秋の味覚たっぷりの食事を味わった。

【申し込み・問い合わせ】
子どもの居場所ビックネット
（戸田和夫）
☎080（6028）5432
✉bignet.kodomo@gmail.com

子どもの居場所
ビックネット
公式ブログ

Interview 関わる人の声

食堂のおかげで地域内のつながりができた



佐々木 志保（しほ） さん
と２人のお子さん
＝迫町大網南＝

３年前に引っ越してきて、食堂をきっかけに子どもたちも友達や知り合いがたくさんできました。以前は、地域の人に見守られながら子どもが集まれるような場所がなかったので、大変助かっています。

退職後、知り合いの縁から調理スタッフに参加



本宮 ひろ子（こ） さん
＝迫町大網西＝

私自身、地域で助けられた経験があり、今度は自分が助ける側になろうと思い、参加しています。スタッフ同士で支え合って調理したり、子どもたちとワイワイ食事したりできるのがとても楽しいです。